



七戸の 議会だより

2021年

NO. 64

令和3年5月1日発行

青森県七戸町議会

広報編集特別委員会



令和3年3月25日（木）、旧天間東小学校に開設されたニッ森貝塚館にてオープニングセレモニーが執り行われ、町内各小学校の6年生から代表1名が協力してくす玉を割り、式典に花を添えた。写真は左から天間林小学校宮澤隆介君、城南小学校和田みのりさん、七戸小学校工藤優和君。

3 月 定 例 会

定例会の主な審議内容	2～3
予算審査特別委員会	4～5
「教えて！にんに君」	6
一般質問に6人登壇	6～13
委員会の動き	14

3月 定例会

主な審議内容

議 案

令和3年第1回定例会は3月1日に開会し、白石洋議会運営委員長の報告のとおりに、会期を10日までの10日間と決定しました。
1日は、町長の提案理由説明、予算審査特別委員会を設置、3日・4日は一般質問（6人）、5日・9日は、特別委員会で予算審査、最終日の10日は議案審議を行いました。

○国民健康保険条例の一部改正

新型コロナウイルス感染症対策特別措置法等の一部を改正する法律の施行に伴い、条例を改正するものです。

☆全会一致で可決

○農村環境改善センターの設置及び管理に関する条例の一部改正

柏葉館の小会議室等にエアコンを設置したことに伴い、冷房使用料を定めたいことから、条例を改正するものです。

☆全会一致で可決

○国民健康保険税条例の一部改正

国民健康保険法施行令等の一部を改正する政令の施行に伴い、条例を改正するものです。

☆全会一致で可決

○介護保険条例の一部改正

令和3年4月から第8期介護保険事業計画が始まることに伴い、保険料が変更となることから、条例を改正するものです。

☆賛成多数で可決
(賛成14、反対1)

反対討論



議員 佐々木 寿夫

一昨年は、消費税が10%に増税され、さらに昨年から今年にかけて、コロナウイルスにより町民の生活が非常に厳しくなっています。事業者も大きな打撃を受けているこのような

となることに伴い、条例を廃止するものです。

☆全会一致で可決

○道路占用料徴収条例の一部改正

道路法施行令の一部改正、道路法等の一部改正、及び関係政令の整備の施行に伴い、条例を改正するものです。

☆全会一致で可決

○町営住宅条例の一部改正

蛇坂団地6棟12戸の完成に伴い、条例を改正するものです。

☆全会一致で可決

○過疎地域自立促進計画の変更

七戸町過疎地域自立促進計画の取組内容の変更が必要となったことから、過疎地域自立促進特別措置法第6条第7項の規定に基づき、変更するものです。

☆全会一致で可決

○町道路線の認定

道路法の規定に基づき、荒熊内大通り線を

認定するものです。

☆全会一致で可決

○定住自立圏の形成に関する協定の一部変更

十和田市及び三沢市との間において、平成24年10月4日に締結した定住自立圏の形成に関する協定について、成年後見制度の利用促進及び医療的ケア児支援のための連携促進に関する取組みを追加するため、協定を変更するものです。

☆全会一致で可決

○町有財産の無償譲与

行政財産の用途を廃止した農業関連施設をゆうき青森農業協同組合に無償譲与するものです。

☆全会一致で可決

○町有財産の無償譲与

行政財産の用途を廃止した農業関連施設を十和田市及び三沢市に無償譲与するものです。

☆全会一致で可決

○土地売買契約の締結

令和3年4月1日、集出荷貯蔵施設及び天間林堆肥センターを財産譲与するため、その用地について売買契約を行うため、地方自治法及び町条例の規定により締結するものです。

☆全会一致で可決

○工事請負変更契約の締結

(荒熊内地区造成工事(第3工区))

工事内容に変更を生じたので、契約金額の変更について、地方自治法及び町条例の規定により締結するものです。

☆全会一致で可決

○十和田地区食肉処理事務組合規約の変更

十和田地区食肉処理事務組合の解散に伴う同組合の事務の承継について規約で定めるため、同組合規約の変更について、地方自治法の規定に基づき変更するものです。

☆全会一致で可決

○十和田地区食肉処理事務組合の解散

令和3年6月30日をもって、十和田地区食肉処理事務組合を解散することについて、地方自治法の規定に基づき解散するものです。

☆全会一致で可決

○十和田地区食肉処理事務組合の解散に伴う財産処分

十和田地区食肉処理事務組合の解散に伴い、地方自治法の規定に基づき財産処分するものです。

☆全会一致で可決

○青森県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び青森県市町村職員退職手当組合規約の変更

構成団体である十和田地区環境整備事務組合が令和3年3月31日をもって解散することに伴い、地方自治法の規定に基づき変更するものです。

☆全会一致で可決

○青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び青森県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更並びに青森県市町村総合事務組合規約の変更

構成団体である十和田地区環境整備事務組合が令和3年3月31日をもって解散すること及び規約の所要の整理を行うことに伴い、地方自治法の規定に基づき変更するものです。

☆全会一致で可決

○令和2年度補正予算(下表参照)

☆全会一致で可決

○令和3年度予算(下表参照)

☆全会一致で可決

報告

○専決処分事項の報告

・公有自動車事故に係る和解及び損害賠償の額を定めることについて

☆全会一致で承認

《令和2年度予算関係》

・一般会計補正予算(第9号)

☆全会一致で承認

・一般会計補正予算(第10号)

☆全会一致で承認

・一般会計補正予算(第11号)

☆全会一致で承認

諮問

○人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

人権擁護委員に諏訪道子氏を推薦するため

☆全会一致で同意

請願

○加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度の創設を求める意見書採択の請願

☆採択

令和3年度予算

区 分	令和3年度	令和2年度	差引増減	水道事業会計
一 般 会 計	96億8,848万8千円	99億0,869万6千円	▲2億2,020万8千円	令和3年度
国民健康保険	18億5,677万2千円	20億1,673万2千円	▲1億5,996万0千円	収益的支出 3億0,341万6千円
後期高齢者医療	4億1,637万2千円	4億2,679万7千円	▲1,042万5千円	資本的支出 3億2,179万0千円
介護保険	26億8,312万1千円	26億2,130万9千円	6,181万2千円	令和3年度
介護サービス事業	530万2千円	391万9千円	138万3千円	収益的支出 3億0,605万2千円
七戸霊園事業	773万0千円	223万2千円	549万8千円	資本的支出 2億9,465万6千円
公共下水道事業	3億9,764万6千円	4億2,845万9千円	▲3,081万3千円	差引 収益的 ▲263万6千円
農業集落排水事業	6,123万3千円	7,199万8千円	▲1,076万5千円	増減 資本的 2,713万4千円

令和2年度3月補正予算

区 分	補 正 額	水道事業会計補正額
一 般 会 計	▲8,146万1千円	
国民健康保険	▲595万6千円	収益的収入 1,607万4千円
後期高齢者医療	▲659万2千円	
介護保険	▲16万3千円	
介護サービス事業		収益的支出 81万2千円
七戸霊園事業	11万8千円	
公共下水道事業	1,006万2千円	
農業集落排水事業	▲55万2千円	

定例会での主な感染症対策

- ・会議室入出時の手指消毒、マスク着用
- ・ドアや窓を開放しての会議室の換気
- ・傍聴者に感染症対策への協力を要請
- ・風邪症状がある場合の会議出席自粛

但し、議長が許可する場合は、この限りではありません。例えば、騒音による窓の開閉、壇上や質問者席でのマスクの着脱等。

令和3年度 当初予算

**一般会計支出総額
96億8,800万円の使い道や
7特別会計・水道事業会計を審査**

令和3年度の一般会計、特別会計の予算を審査する予算審査特別委員会（町清悦委員長、委員14人）が3月5日、9日に開かれました。

審査の結果すべて可決となりました。委員から出された質疑の一部を要約してお知らせします。

◎一般会計

○歳入

法人税減額の理由

問 佐々木 寿夫委員

前年度当初予算より減額されている理由は。

答 附田税務課長

コロナの影響もあり、例年前年度対比の90%で計上しているものを前年度対比50%で計上しております。

多面的機能支払交付金について

問 田嶋 輝雄委員

この事業の団体数等は。

答 鳥谷部農林課長

この事業は、5力年計画であります。総事業に関わる団体は、11組織です。

○歳出

新型コロナウイルス感染症対策費について

問 佐々木 寿夫委員

コロナの予算科目のなかに、インフルエンザの予防接種に関するものがありますが、その理由は。

答 井上健康福祉課長

コロナとインフルエンザの同時流行が懸念されるためであります。

地域おこし事業費について

問 中野 正章委員

地域おこし協力隊員の人数と、そのうち農業関係の隊員の人数は。

答 田嶋企画調整課長

5人分の経費を計上しております。うち、農業は2名分となっております。

環境衛生費について

問 田嶋 輝雄委員

中部上北広域事業組合負担金（火葬場）について、新しい火葬場はいつから使うことができますか。

答 町長

令和3年9月からという予定であります。豪雪の関係で少し遅れる可能性があります。

健康増進費について

問 佐々木 寿夫委員

健康診査等委託料が、昨年度と比べて500万円

ほど減額になっていますが、その理由は。

答 井上健康福祉課長

人口の減少により対象者の人数が少なくなっているためです。

塵芥処理費について

問 岡村 茂雄委員

中部上北広域事業組合負担金（最終処分場）について、近年、最終処分場の能力が限界に近づいており、利用制限を考えていると聞いておりますが。

答 澤山社会生活課長

令和3年4月1日から自己家屋解体について受け入れを行わない等減量化に向け制限する予定です。

保険衛生総務費について

問 山本 泰一委員

保健衛生総務費が対前年比で1億円ほど減額になっているが、その理由は。

答 井上健康福祉課長

七戸病院に対して4年間支出してきた経常収支改善のための繰出金が昨年度終了したためです。

林業振興費について

問 山本 泰二委員

(仮称)森林ビジョン策定業務委託料について、策定の概要は。

答 鳥谷部農林課長

森林環境譲与税を有効活用するために森林ビジョンを策定し、短期・中期・長期的に整備していくことを検討委員会に図りながら進めていきたいと考えております。

道の駅施設管理費について

問 田嶋 輝雄委員

産直施設の指定管理制度的導入についての方向性は。

答 附田商工観光課長

令和4年度に向けて、指定管理制度の導入の有

無、公募を実施するかどうかなど、検討作業に入る予定です。

除雪作業業務について

問 田嶋 政義委員

七戸病院周辺の県道は除雪が悪く、救急車がすれ違ふことが困難。町で除雪できないか。

答 氣田建設課長

町で除雪することになったので、注意したいと思います。

後平・石沢線について

問 小坂 義貞委員

後平・石沢線は交通量が多いので県に譲渡してはどうか。

答 町長

あと1年半程度で天間

林道路が完成すると交通量が減るので、今の時点では県にお願いすることは考えておりません。

道路維持修繕について

問 澤田 公勇委員

県管理の道路補修について、町で補修した後で精算できないか協議をすることは可能か。

答 町長

県管理の道路については県が修繕しなければなりません。壊れれば県に対して速やかに補修をお願いしております。

災害時の要支援者への対応について

問 三上 正二委員

災害時避難に支援が必要な方が町内に2000

人いるが、その方達に対する避難サポート体制は。

答 中野総務課長

自主防災組織の2団体と、その他近隣の方々の協力を頂くよう進めていきたいと思います。

教育費・事務局費について

問 白石 洋委員

七戸高校魅力化構想に関する新年度予算の概要は。

答 鳥谷部学務課長

新年度予算に、検討委員会、コンサルティング業務委託等の予算を計上しております。検討委員会は、公営塾をもとに、どのような付加価値をつけることができるのかなどを検討します。コンサ

ルディング業務委託費につきましては、これから住民説明会や学校への説明会をおこないます。現在、アンケート調査を行っております。そのような業務をコンサルティング業務で行います。

保健体育総務費について

問 田嶋 輝雄委員

健康増進生涯スポーツ普及事業費補助金の概要は。

答 田中生涯学習課長

屋内スポーツセンターで行っております、町民スポーツレクリエーション祭、スポーツ推進委員で行っております、軽スポーツのつどい、指導者講習会などです。

◎介護特別会計

第1号被保険者保険料について

問 佐々木 寿夫委員

コロナ禍において、第8期介護保険計画が始まるが、保険料は月額どのようになるのか。

答 井上健康福祉課長

7600円になる見込みです。ちなみに、第7期計画では、7480円でありましたので、1200円の値上げとなります。

ことばのヒント！
請願って？

学生：「請願」って何ですか？

先生：請願とは、国民に認められた憲法上（第16条）の権利の一つで、国または地方公共団体の機関に対して、意見や希望を述べることを言い、その手続等は、請願法によります。

学生：よくわからないのですが？

先生：それでは、例えば「バス停建設の請願」を提出してみましょう。

請願書を提出するときは、必ず紹介議員の署名又は記名押印が必要です。

学生：どこへ提出するのですか。

先生：議長宛てとし、議会事務局へ提出します。

提出された請願は、所管常任委員会に審査を付託し、その審査結果を本会議に報告します。

そして議会として採択すべきものなのか、不採択とすべきものなのか決定をします。

学生：採択されたらどうなるのですか。

先生：採択された請願は、町長に送って実現に向けて検討してもらいます。

町議会はその「バス停建設の請願」の処理の経過や結果の報告を請求することができます。

学生：なるほど。ということは、町議会や町長は、実現への努力が要請されるということですね。

先生：そのとおり。

住みよいまちづくりのために



町政のここが聞きたい

一般質問

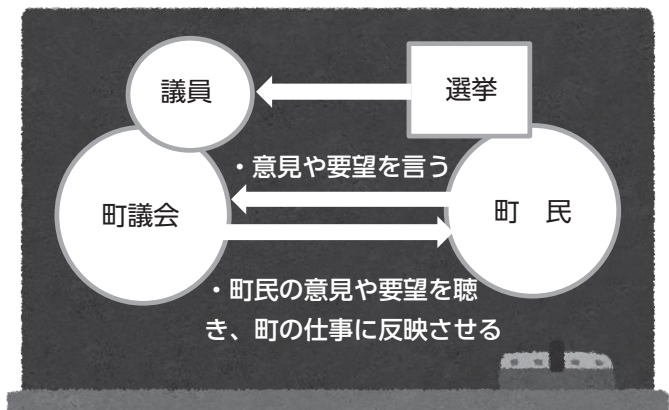
3月定例会では、6人の議員から29件の一般質問がおこなわれ、消防団員の待遇や除雪支援策など、活発な議論が展開されました。

「一般質問」は、行財政全般にわたる議員主導による政策論議であり、年4回の定例会で行われます。質問する議員も受ける執行機関も、ともに十分な準備が必要であるため、通告制が採用されています。議員が行財政全般にわたり、事務の執行状況及び将来の方針等について所信をただし、事実関係を明らかにすることにより、現行の政策の確認、変更、是正、あるいは新規の政策を採用させるなどの目的効果があります。

「教えて！ にんに君」コーナー

議会についての？（はてな）をにんに君が毎回わかりやすく解説していきます。

「教えて！にんに君」 Vol.2 「町議会は町民にとって どんなところ？」



皆さん、こんにちは。今回は、町議会について町民目線でお話しします。
町議会は、町民の皆さんの代表として、選挙で選ばれた議員が本会議や委員会などの会議を行うところです。

町政の運営は、町長と町議会によって行われますが、町民の皆さんも、選挙で議員を選ぶほか、「請願」(5ページに詳しく説明があります)、「陳情」、「要望」など、さまざまな形で町議会に対して意見や要望を伝えることができます。

そして、町議会は、これらの意見や要望を聴き、話し合いを重ね、町の仕事に反映されるよう取り組んでいます。



ページ	質問者	主 な 質 問 項 目
8	田 嶋 輝 雄 議員	◎消防団及び消防団員の待遇について ・分団数、分団員の構成は。 ・消防団員の待遇に係る制度内容は。 ・消防団員の待遇改善は。 ・地域防災力の向上対策への支援は。 ◎パイプハウス再建支援対策について ・豪雪による倒壊件数の把握と早期対応は。
9	田 島 政 義 議員	◎新型コロナウイルス対策について ・新型コロナウイルスワクチンの接種に係る対応は。 ・第 2 期七戸町プレミアム商品券及び飲食券の発行は。
10	二ツ森 英 樹 議員	◎インフルエンザ予防接種の現物給付について ・予防接種の現物給付を町外の医療機関にも対象を拡大する考えは。 ◎コミュニティバスの停留所について ・コミュニティバスのバス停の位置を利用状況によって変更する考えは。 ・待合室の更新や新設をする考えは。 ◎役場庁舎内のエアコン設置について ・近年の猛暑対策としてエアコンを設置する考えは。
11	佐々木 寿 夫 議員	◎七戸町気候非常事態宣言について ・2050年までに温室効果ガスをゼロにするための取り組みは。 ・近年の異常気候を受け、町民の命とくらしを守るための風水害対策は。 ・気候危機の現状について、町民や事業者と情報共有し、共同で改善に取り組む考えは。 ・七戸町気候非常事態宣言の必要性は。 ◎新型コロナウイルス感染症対策について ・多数の陽性者やクラスターの発生に備え、上十三地域の宿泊療養施設の必要性は。 ・町長選挙・衆議院議員選挙に対する感染対策は。 ・収入減による国民健康保険税の減免の実態は。 ・高齢者施設での社会的検査を行う考えは。 ◎稲作農家支援について ・20年産米の米価下落に対する農家への支援策は。
12	中 野 正 章 議員	◎分館等の地域活動の活性化案について ・若者の地域活動参加のために「スポーツ大会による地域の活性化」をより推進する考えは。 ・七戸・天間林、両区の地域体制の違いを解消するために、町内全地区に分館体制を設ける考えは。
13	町 清 悦 議員	◎積雪状況の情報共有について ・今シーズンの除雪に関して町民から問い合わせなど、電話の件数とその内容は。 ・積雪状況と除雪作業の進捗状況をどのように把握・管理しているか。 ・屋根から歩道に落ちた雪が高く積もり過ぎたこともあり、国道4号線沿いの歩道の除雪がかなり遅れた。今後の対策は。 ・青森県道路情報サイト「青森みち情報」のように、町内各地の道路や歩道の積雪情報を画像で共有する方法を構築する考えは。 ◎積雪状況の情報共有について ・要援護者世帯からの自宅の除雪について、相談件数やその内容は。 ◎積雪状況の情報共有について ・今シーズンの大雪で倒壊した農業用施設の農業共済への加入状況と令和2年度の農業収入保険への加入状況は。 ・農業収入保険への加入率を高め、将来の町の財政負担を減らすために、農業収入保険に加入している農家の補助率を高める考えは。

※質問形式は、制限時間50分、通告内容を1件ずつ発言して順番に質疑応答をしていく「一問一答方式」です。

消防団員の報酬額に愕然 団員の待遇改善を図る考えは

田嶋 輝雄 議員

町長

上十三管内の消防団の状況を見ながら、
待遇改善の取り組みを七戸町から発信していきたい

一問一答方式

消防団および消防団員の
待遇について

議員

消防団は、非常備の消防機関であります。農業従事者、自営業者、会社員、公務員、こういった生業を持った方々で団員が構成されております。休日を利用して訓練を積んで、一朝有事の際は、自分の仕事を置いて一分一秒を争う消火活動、救助や搜索活動など、重要な役割を果たしております。

ここ数年、急速な人口減少と高齢化が進む中、団員の減少は地域防災力の低下につながり、団員一人当たりの役割は増える一方です。そこで今定

例会では、消防団および団員の待遇の改善について伺います。

議員

分団数、分団員数の構成は。

町長

条例定数255名ですが、2月1日現在の実員数は242名であります。

構成人数は、本団が18名、七戸第一分団24名、七戸第二分団22名、七戸第三分団23名、七戸第四分団18名、七戸第五分団16名、七戸第六分団24名、天間林第一分団14名、天間林第二分団14名、天間林第三分団15名、天間林第四分団14名、天間林第五分団15名、天間林第六分団13名、天間林第七分団12名となっております。

議員

各分団における問題点など、聞き取りする機会はあるか。

町長

分団長会議を開催し、各分団の運営等に対する意見交換、問題の聴取等を行いながら運営に努めております。

議員

条例定数255名に対して、減っている理由は。

町長

定数に対して13名が満たされておりませんが、その理由の一つとして、転勤や転職により、活動ができなくなるケースがあると伺っております。

議員

消防団員の報酬、費用弁償、手当、災害補償等はどうなっているか。

町長

消防団員には、年額報酬と消火活動等に出動した際の出勤手当を支給しております。年額報酬は、団長5万1000円、副団長3万6000円、団付分団長2万6000円、分団長2万2500円、副分団長2万500円、

部長1万7500円、班長1万4500円、団員1万3500円となっております。費用弁償は消火活動など1回につき2000円、車両の機関員に年2万4000円、機関員助手に年1万2000円を支給しております。

議員

地域に根差したきめ細やかな防災活動ができる環境への支援について、町長の考えは。

町長

町としては、町内会、民生委員など、関係する皆様と協力し合って地域防災力の向上を図ってまいりたいと考えております。また、消防庁で検討されている内容を踏まえ、協議してまいりたいと考えております。

パイプハウス

再建支援対策について

議員

豪雪による倒壊件数の把握と早期対応について伺います。

町長

1月18日現在、園芸用ハウス68棟、農業用倉庫棟ハウス25棟の合計93棟が確認されております。再建希望の受付を2月1日から開始し、事業内容により国庫、町単独事業を選択できるよう対応してまいります。

新型コロナウイルスワクチン接種の 対応について

田島 政義 議員



一問一答方式

町長

個別接種と集団接種を併用し、とにかくスピーディーに行う

新型コロナウイルス
対策について

議員

新型コロナウイルスワクチンの接種に関わる対応について伺います。

議員

接種に係る最新情報について。

町長

接種費用は、無料です。接種の順位につきまして、医療従事者、65歳以上の高齢者、基礎疾患を有する方、高齢者施設等の従事者、60～64歳の方、それ以外の方となっております。また、65歳以上の高齢者への接種券の発送は、3月下旬（4月10日より順次発送）の見込みです。

接種体制につきまして

は、公立七戸病院、工藤医院、七戸内科クリニックによる個別接種と、屋内スポーツセンター等で行う集団接種です。会場については、いろいろ検討をしながら、適切な場所を選定していきたいと思っております。いずれにいたしましても、個別接種と集団接種を併用し、とにかくスピーディーに行う計画となっております。

予約方法は、個別接種・集団接種とも、接種を希望する場所へ直接電話をして予約していただくということとなります。また、集団接種会場へは、送迎するための町内巡回シャトルバスも計画しております。

国からの情報が不足している現状ですが、今後ワクチン接種の情報がありましたら、随時、広報やホームページ等によりお知らせしていきたいと考えております。

議員

一番大切なことは、町民が迷わず接種ができる体制を作ることです。また、接種に関する問い合わせの電話等に備えた対応を徹底してほしいと思います。

議員

次期七戸町プレミアム商品券及び飲食券の発行について。

町長

昨年12月に、年末年始の消費喚起と需要拡大を目的に、商品券と飲食券を

発行し、完売いたしました。

その後、年度末、年度初めにおいても、買い物や食の機会が増えることから、期限を延長してほしいという声が多数届きました。この声を受け、3月1日から商品券と飲食券の追加販売を行っております。

今後、ワクチン接種などの感染対策は徐々に進んでいきますが、景気の急激な回復は容易ではないものと考えております。したがって、追加販売が終わった後には、新たな形で夏や秋に向けた商品券事業

業を実施する必要がありますと考えております。

議員

もし次回の販売を行うのであれば、高齢者の方が使いやすい券を発行して頂きたいが、その点の検討は。

町長

今後、商品券事業を行うときは、提案いただいたような、高齢者の方にも使い勝手がいいような工夫を凝らしたいと思っております。

青森県町村議会議長会表彰を受賞

令和3年2月26日、第71回青森県町村議会議長会定期総会において盛田恵津子議員、田嶋輝雄議員（19年以上在職）が受賞し、表彰状及び記念品の伝達式が行われました。

この表彰は、町村議会議員として長年在職され功労のあった議員に贈られます。



第1回定例会本会議場における伝達の様子（3月1日）

インフルエンザ予防接種の現物給付について 町外の医療機関にも対象を拡大する考えは

二ツ森英樹 議員

町長

ワクチンの安定供給が見込める場合、町外医療機関でも実施できるよう考えたい



一問一答方式

インフルエンザ予防接種
の現物給付について

議員

今年度より、高校生以下の子供たちも無料で受けられるようになりましたが、町内の指定病院では、ワクチンの数が足りず予約ができないということがありました。それにより、近隣の市や町で予防接種を受けたという声を聞きました。そこで、学校や仕事の関係上、どうしても町内の病院で予防接種ができない方々のために、様々な解決策があると思いますが、中部上北で連携している七戸町と東北町のどちらで予防接種を受けても現物給付できないものか、でき

れば、もっと範囲を広げ、十和田市、三沢市まで広げることができないものか、伺います。

町長

基本的には県内のワクチン供給量は決まっております。予防接種助成の対象者が増えたことに伴い、ワクチン不足が懸念され、町外の医療機関にまで現物給付を拡大することは、他市町村におけるワクチン不足に拍車をかけるものと考え、町内の医療機関に限り現物給付をすることとしたしました。今後、ワクチンの安定供給が見込める場合には、町外医療機関においても現物給付できるようになりたいと考えております。

コミュニティバスの
停留所について

議員

町の65歳以上の高齢者が6000人を超え、そのうち75歳以上の方は3000人を超えています。

す。そのような高齢者の大切な移動手段はコミュニティバスだと思っております。このコミュニティバスに数日かけて全線乗車しました。どの路線も町民にとっては大切な交通手段だということが確認できました。その中で、停留所について気になる点がありましたので伺います。

議員

バス停の場所について、雨や風、雪をしのげないバス停も数所あった。利用者やその地区の方と話し合い、場所を移動する等の改善策を講じる考えはないか。

町長

バス停の位置は、住宅からバス停までの移動距離を可能な限り公平にするように努めております。また、利用者の状況を考慮し利便性の良い位置に変更したこともございますが、一方で交通状況等、安全面を考慮し要望があっても位置を変更できない

かったこともございます。今後は、利用者の利便性だけではなく、乗り降り時の歩行者の安全面を考慮した配置に努めながら変更が必要な場合は、関係者等と協議し、判断したいと考えております。

議員

待合室について、地域によっては、あるところとないところ、また、あったとしても古くて壊れていたり、修復が必要な場所もあります。待合室の更新や新設をする考えはないか。

町長

待合室の新設については、利便性と安全性の両面を考慮し、関係機関と協議の上設置しておりますが、設置場所の敷地の確保や道路の見通しの悪さなど、新設することが難しい場合もあります。今後、更新や新設が必要な場合には、利用者数の把握等、関係機関と改めて協議をし、判断したいと考えております。

役場庁舎内の
エアコン設置について

議員

今年度は、町内の小中学校全てにエアコンが設置されました。次は町民のために、近年の猛暑対策として役場庁舎にエアコンを設置する考えはないか、伺います。

町長

以前、本庁舎及び七戸庁舎へのエアコン設置の検討に関する要望を頂き、事業費を見積ったところ、総額で5000万円ほどになりました。先が見通せない新型コロナウイルス感染症の財源確保など、総合的に勘案した結果、現時点では庁舎全体へのエアコン設置は難しいとの判断に至りました。しかしながら、来庁される方々が体調を壊すことのないよう、暑さをしのげる空間を令和3年度に整備したいと考えています。

「七戸町気候非常事態宣言」は

昨年11月に衆参両院において宣言が議決されたことを受け、「七戸町気候非常事態宣言」を目指し、取り組みを進めていきたい

佐々木寿夫 議員



一問一答方式

町長

七戸町気候非常事態宣言について

議員

気候は、いままさに非常事態に直面しています。すでに世界では、1300を超える多くの自治体が気候非常事態を宣言しています。

そこで、わが町でも気候が非常事態であるという危機感を町民が共有し、ともに行動していくことを目指した取り組みが必要と考え、七戸町気候非常事態宣言を提案したいと考えます。

議員

二酸化炭素の排出を減少させるための取り組みについて。

町長

現在、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に即して、「地方公共団体実行計画」を策定中です。今後とも二酸化炭素排出削減に取り組んでいきたいと思っております。

議員

再生可能エネルギーの活用について、何にどう取り組むか。

町長

太陽光や風力といった採算性が見込まれるエネルギーについては、民間企業と協力をしながら進めたいと考えております。

議員

気候危機の現状について、町民や事業者と情報を共有し、協働で改善に取り組む考えは。

町長

町民や事業者と協働できる課題として、ゴミの排出量削減がございまして、この削減に取り組むことで地球温暖化対策の一助としたいと考えております。

議員

全町一体となった取り組みを進めるためにも、七戸町気候非常事態を宣言する考えは。

町長

気候非常事態宣言につきましては、衆参両院に於いて、昨年11月に議決されております。今年の豪雪なども地球環境悪化に起因していると思われるが、当町も気候非常事態宣言を目指し、取り組みを進めてまいります。

議員

新型コロナウイルス感染症対策について

議員

県内でも連日新規陽性者数が報道されている中、今後の七戸町における対策について伺います。

議員

町内に多数の陽性者やクラスターが発生した場合に備え、上十三地域の宿泊療養施設の必要性をどう考えるか。

町長

都道府県がホテル等の

民間宿泊施設を借り上げ、必要な居室数を確保することとしております。このことから、町が直接選定できるわけではございませんが、県から要請があった場合には、協力してまいりたいと考えております。

議員

町長選挙、衆議院議員選挙に対する感染対策について。

選挙管理委員会委員長

消毒液の設置、事務従事者のマスク着用とフェイスシールドの着用、アクリル板の設置、記載台の定期除菌、定期的な換気、事務従事者の人員見直しなどの対策を講じたことを考えております。

議員

町内にある高齢者施設でのPCR検査が、入所者や職員全員に行われていないが、高齢者施設での社会的検査を行う考えは。

町長

町所管の高齢者施設に對して、厚生労働省から

発出されている新型コロナウイルス感染症対策の周知を随時行っております。また、介護保険サービス従事者向け感染対策に関する研修の受講報告を受けており、施設においての感染症対策は万全に実施されていることと思っております。現時点において、社会的検査を行うということは考えておりません。

議員

稲作農家支援について

議員

20年産の主食用米が60キロ当たり1万円前後に値下がりしているというが、農家への支援の考えは。

町長

農家の皆様には、主食作付けに片寄ることなく、非主食用米の取り組みに交付される産地交付金を活用し、飼料用米、加工用米、輸出用米にも取り組み、米価下落に対するリスク回避をし、所得安定収入の確保に努めるように周知してまいります。

町内全地区に分館体制を設ける考えは

中野 正章 議員

町長

勉強会や研究会を立ち上げて、町内分館体制の取り組みの検討を進めていきたい

一問一答方式

分館等の地域活動の

活性化案について

議員

天間林地区の分館活動が、町村合併以来、大きく低下してきているのではないかと感じています。合併前は、村民運動会、分館対抗スポーツ大会等により、若者の地域参加も多く、それが地域間の交流にもなっていました。いまは、高齢者向けの事業が多いが、若者が参加できる事業が少なく、これでは地域間交流も生まれないし、次の世代が育ちません。若者の地域参加のために、スポーツ大会による地域活動の活性化をより推進するべきではないかと考えます。

議員

ここ数年の各種スポーツ大会への分館・町内会単位での参加状況は。

教育長

町民スポーツレクリエーション祭については、平成29年度は6分館で176名、平成30年度は3分館で107名、令和元年度は4分館で107名となっておりま。次に体育協会による各種大会です。町内対抗壮年スポーツ大会は、平成29年度は2分館・5町内会で188名、平成30年度は2分館・4町内会で158名、ナイターバレーボールリーグ大会は、平成29年度から令和元年度まで3町内会45名程度が参加しております。

議員

このようにスポーツ大会への参加が少ない原因は、参加者側にもあるとは思いますが、大会自体、参加しづらいのではないかと感じている。

そこで、かつての分館

対抗スポーツ大会のような地域と直結した「分館・町内会対抗スポーツ大会」を企画する考えはないか。

教育長

合併前の両町村では、分館、町内会対抗の運動会や各種スポーツ大会などがあり、地域を挙げた一大イベントとして実施されてきたものと認識しております。以前のよう

議員

それぞれの分館設置の経緯は。

教育長

天間林地区は、昭和31年4月に10分館、昭和54年4月に森ノ上分館を加え11分館となっております。

議員

地域活動の主流が、七戸地区は町内会、天間林地区は分館ということで合併以来、大きな変化はありません。これでは、地域行政が一本化しづらく、さきに質問をしたスポーツ大会など、様々な

議員

町内全地域に分館設置をする考えは。

町長

自治会活動と分館活動は明確に異なっておりま。住民が楽しく豊かに暮らしていく、最も基本となるのは、自治会活動であります。また、公民館何々分館といういわゆる教育機関としての分館活動ということになります。

そこで分館の設置・再編、これは公平性を考えなければならず、同じような規模、これが活動の基本になると思っております。一つの考え方でありますが、勉強会や研究会を立ち上げて、町内の有識者など、いろいろな方々の意見を聞きながら、町内分館体制の取り組みの検討を進めてまいりたいと考えております。

七戸地区は、昭和38年現在地へ公民館建設と同時に4分館を設置しましたが、平成14年度、小学校の統廃合に伴い分館制度を廃止した経緯がございます。合併に伴い、天間林地区の分館設置状況を考慮し、地域の実情と地域住民の意向により、平成20年度、七戸地区に4分館を新たに設置し現在に至っております。

大雪の際は防災無線で状況を伝えては メール一斉送信を導入し活用しては

町 清悦 議員



一問一答方式

町長

防災無線の活用を検討

メールの一斉送信も早めの導入を目指したい

除雪状況について

議員

町民からかかってきた電話の件数とその内容、また積雪状況の把握方法と除雪方法を伺います。

町長

件数はおおよそ260件で、内容は除雪車が来ない、遅い、粗末だ、道幅が狭い、排雪してほしい、雪を飛ばさないでほしい、盛り上げないでほしい、奥まで押してほしい等でした。

また、除雪は七戸・天間林両地区の除雪隊長が巡回により状況を確認し出動を指示し、通常は午前2時頃から始まり、午前7時半頃までには終了するように行っています。

歩道の除雪について

議員

本庁舎周辺の国道4号線沿いの歩道の除雪があまりにも遅れていました。屋根の雪が直接歩道に落ちていることもその原因とのことでした。

道路や歩道に屋根の雪が落ちないように規制する手段はあるか、またどのような対策を講じているか伺います。

町長

建築基準法及び県条例についても規制する手段はありませんが、今後個別に調査をして、雪止めの設置と注意喚起を図っていきます。また、国道関係の歩道は、作業が非常に遅いと感じているので、強く申し入れをしておきます。

防災無線活用とメール一斉送信の導入について

議員

これまでの経験から、今日は電話がたくさん掛かって来そうだと感じた

ときに、防災無線で除雪状況を伝えては。

町長

防災無線は迅速に情報を伝えることができるため、今後新たなやり方を検討して構築していきたいと考えております。

議員

防災無線は、町外にいる人や機械作業している人や耳が遠い人には聞こえない。暴風雪時に通行止めになる区間があり、通行止めやその解除、交通事故で渋滞している区間の情報を求めるドライバは多いと思う。

メール一斉送信は、情報が更新された瞬間に届くため、除雪に限らず、利用方法により多様な効果が期待できるが、メールの一斉送信を導入する考えは。

町長

全くそのとおりで、時代が変わりメールに対する理解度が上がっています。今後、十分検討して早めの導入を目指します。

除雪支援策について

議員

要援護者の世帯数と除雪の相談件数及び内容を伺います。

町長

世帯数は把握しておりませんが、要援護者数は1995人です。その方々からの除雪相談は2月10日時点で53件あり、ほとんどは家屋から生活道路までの除雪依頼や屋根の雪下ろしに関する事です。

議員

来年以降も大雪が降った場合、同じ人から相談を受ける可能性があるのですが、今から準備しておく必要があると思います。

災害農家支援策について

議員

大雪により農業用施設が倒壊した被災農家の、農業共済や農業収入保険制度への加入状況は。

町長

2月22日現在、被害棟数111棟のうち24棟が農業共済に加入しており

ます。農業収入保険制度の加入条件は青色申告が原則で、加入可能な約300人のうち48人が加入しています。被災農家数81人のうち農業収入保険加入者数は9人でした。

議員

農業収入保険で100万円受け取る際の財源の内訳は、農家が支払った保険料と積立金が50万円、国が50万円。農家300人にその差額の50万円を町が補助する場合、1億5千万円必要だが、農業収入保険加入の誘導策として5万円の補助金で加入させられればその10分の1で済む。

保険や共済に加入した農家が有利になる誘導策を検討する考えは。

町長

保険料の助成は考えておりませんが、各種多様な保険制度の中でどれが有利なものかを判断できるように、相談は引き続き行います。今年の豪雪が教訓になり、加入率向上が期待されます。

委員会の動き

◎総務企画常任委員会

開催日 令和3年2月9日

案件 ①要請事項に対する回答

②3月定例会の各課懸案事項

内容 ①要請事項に対する回答は、地域おこし

総合戦略課長と企画調整課より説明を受けた。

②懸案事項は、関係課長より説明を受け協議した。

◎建設産業常任委員会

開催日 令和3年2月10日

案件 ①要請事項に対する回答

②3月定例会の各課懸案事項

内容 ①要請事項に対する回答は、農林課長、

商工観光課長、建設課長、農業委員会事務局長より説明を受けた。

②懸案事項は、関係課長より説明を受け協議した。

◎文教厚生常任委員会

開催日 令和3年2月13日

案件 ①要請事項に対する回答

②3月定例会の各課懸案事項

内容 ①要請事項に対する回答は、学務課長、

世界遺産対策室長、社会生活課長より

説明を受けた。

②懸案事項は、関係課長より説明を受け協議した。

開催日 令和3年3月4日

案件 ①請願の取り扱いについて

内容 ①「加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度の創設を求める意見書採択の請願」について審査し、採択すべきものとした。

◎議会運営委員会

開催日 令和3年2月16日

案件 ①3月定例会の会期日程等について

内容 ・提出議案について

総務課長及び財政課長より提出議案等の説明を受け審査した。

・一般質問通告書について

・質問内容等を審議した。

・請願の取り扱いについて

・請願1件を文教厚生常任委員会へ付託することにした。

・予算審査特別委員会の運営方法について運営方法を審議した。

・常任委員会の要請事項に対する回答について

要請事項に対する回答について審議した。

・会期について

会期日程を審議した。

◎議会全員協議会

開催日 令和3年3月1日

案件 ①七戸町被災経営体再建支援事業費補助金について（令和3年1月専決）

②七戸良質堆肥センタープラント設備撤去費負担金について（令和3年2月専決）

③農業関連施設（農協）の無償譲与等について

④十和田地区食肉処理事務組合の解散等について

⑤一般社団法人 東八甲田ローズカントリーの財務状況について

⑥七戸町公共施設等個別施設管理計画について

⑦（報告）新型コロナウイルスワクチン接種計画について

各課長より提出案件の説明を受け協議した。

内容 各課長より提出案件の説明を受け協議した。

編集後記

コロナ禍の中で、ワクチンの接種が始まるとはいえ、まだ終息が見えず、

春まつりをはじめ、町の各種イベントが中止、町民は何ともやりきれない日々を過ごしています。

こういう時こそ、いくら何でも町民の力になれる議会広報を届け、喜んでほしい、そのため

議会広報編集特別委員会

4月6日・14日 開催

委員長 山本 泰二

副委員長 佐々木 寿夫

委員 小坂 義貞

二ツ森 英樹

向中野 幸八

中野 正章